

航空連24期でITF加盟を検討

世界規模の航空自由化の下、アライアンスの拡大、国を越えた資本提携・企業再編も行われる中で、空の安全を守り、雇用と労働条件を守って行くには、国際交流と連帯の重要性が増しています。

航空連ではこうした情勢変化に対応し、第21期(06,9~)から国際活動を再開、運動方針の柱の一つに掲げて、取り組みを活性化させてきました。そして第24期では、国際運輸労連(ITF:International Transport Workers' Federation) 加盟へ向けて運動を進めてまいりました。

国際活動再開後の取り組み

航空連 21 期 (06,9~07,9)	
2006 10月	<p>◆EUの整備・グランドハンドリング実態調査&ITF本部航空部会表敬訪問(10/18~24)</p> <p>①CGT(フランス総同盟)エールフランス組織 エールフランス整備の実態調査(工場見学も実施)</p> <p>②CGT運輸部門(バス・トラック・航空) フランスの運輸労働者の組合運動について情報交換</p> <p>③Ver.di(ドイツ統一サービス産業労組)航空部門 ドイツの航空労働者の運動の実態、グラハン企業の実態について意見交換</p> <p>④Ver.diルフトハンザ・テクニク組織 ルフトハンザ航空整備の実態調査(工場見学も実施)</p> <p>⑤ITF本部航空部会(ロンドン) CGT運輸、Ver.di航空部門ともITF加盟組織であり、調査に当たっての取り次ぎをしてもらった関係で、表敬訪問を実施。ITF航空部門の活動状況について、情報を収集</p>
2007 6月	<p>◆米国航空情勢・労働組合運動の実態調査(6/11,12)</p> <p>①IAM(国際機械工・航空宇宙産業労組)本部(ワシントン) 航空労働者の状況、整備の外注化、Low Cost Carrierの実態、労働組合の闘いについて調査</p>
航空連 22 期 (07,9~08,9)	
2007 12月	<p>◆米国の整備・グランドハンドリング・客室乗務員の実態調査(12/3~7)</p> <p>①IAM本部(ワシントン) 整備とグランドハンドリングの労働条件や労働実態、企業形態などについて調査</p> <p>②AFA(米国客室乗務員組合)本部(ワシントン) 客室乗務員の労働条件や労働実態について調査</p>
2008 9月	<p>◆IAM定期大会参加(9/6~11) 2度のIAM本部訪問により、定期大会(フロリダ)への参加を呼びかけられ、交流と米国の組合運動の実態の情報収集をする目的で参加</p>
航空連 23 期 (08,9~09,9)	
2008 11月	<p>◆ITF民間航空部会・環境会議参加(11/15~21)</p> <p>①ITF本部(ロンドン) ITF加盟を検討するに当たり、ITF航空部会の活動内容や状況を把握するとともに情報収集を目的に、ITF東京事務所を通じて、オブザーブ参加を要請して参加が実現した。航空部会に引き続いて、開催された環境会議にも参加し、各国の地球温暖化防止へ向けた課題や取り組みについて、情報を収集</p>

2009 3月	<p>◆疲労と航空安全の国際会議参加(3/24~26) 欧米を中心に研究が進んでいる「疲労リスクマネジメント」の国際シンポジウム(ボストン)に参加し、乗務による疲労が安全に与える影響について、各種の研究結果やデータを収集</p>
2009 8月	<p>◆IAM北米交通会議参加(8/16~20) IAMの呼びかけに応じて、北米交通会議(ニューヨーク)に参加し、交通運輸関係の運動や大統領交代後の情勢変化について情報を収集</p>

これらの取り組みにより収集した情報や資料は、政策活動や学習会などに活用するとともに、必要により報告パンフを作成し、報告会なども実施してきました。

国際活動継続に必要なITF

今回の調査・交流を行った相手労組はITFに加盟しており、ITFに加盟していない航空連がより突っ込んだ情報をいただくことは、極めて難しい現実があります。

今回の取り組みは、ITFへの加盟を検討するということで相手も対応していただきました。従って、活動をより充実し、具体的に成果へと結びつけるためにも、ITF加盟は必要であると航空連は考えております。

ITF:国際運輸労連とは

ITFは、交通運輸労組の世界的組織である国際運輸労連(International Transport Workers' Federation)の略称です。世界147カ国の644組合の連盟であるITFは、組合員440万人以上を代表しています。

ITFは、スト破りに対抗するための国際組織の必要性を認識した欧州の船員組合と港湾労働者組合の指導者によって、1896年にロンドンで結成されました。現在ITFは、海運・港湾・鉄道・路面・貨物旅客輸送・内陸水運・水産・観光・民間航空で働く労働者を組織しています。

ITFは、世界レベルで交通運輸労働者を代表し、グローバル・キャンペーンと連帯を通じて交通運輸労働者の利益を促進します。また、独立した民主的な労働組合運動の発展と基本的な人権・労働組合権の擁護にも寄与しています。あらゆる形の全体主義、暴力、差別にも反対しています。(ITF HPより)